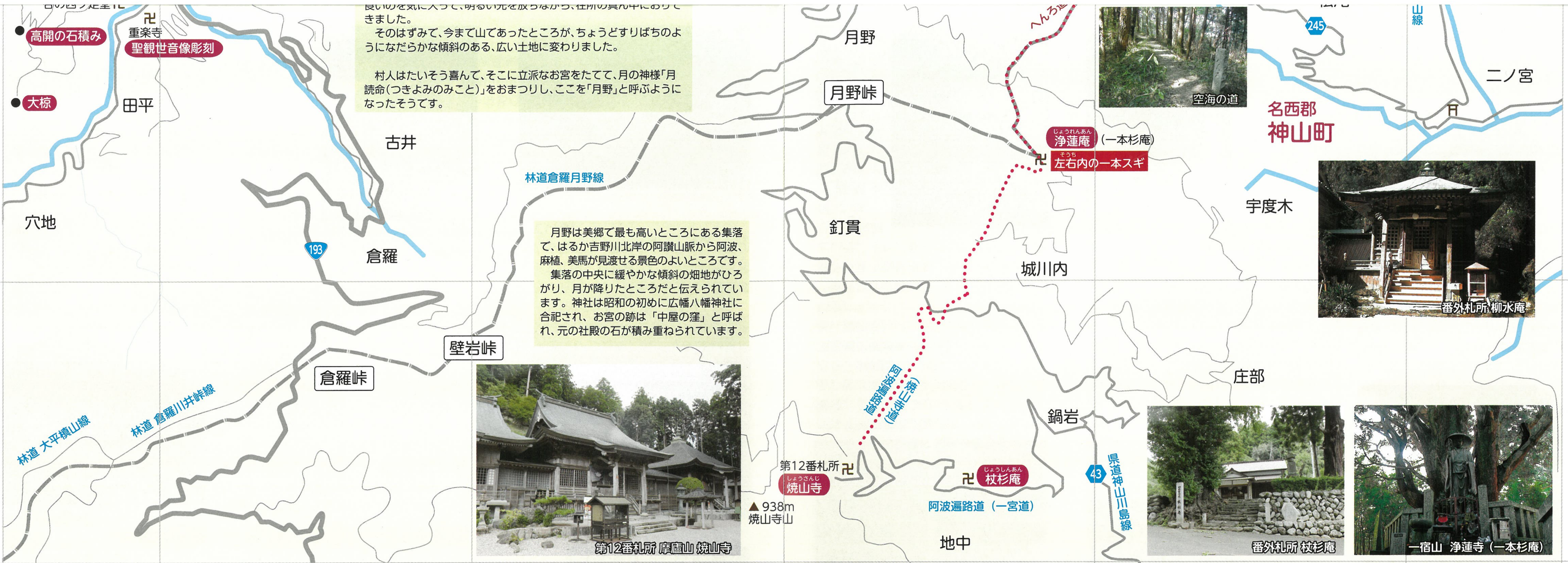
良いのを気に入って、明るい光を放ちながら、在所の真ん中におりてきました。

そのはずみで、今まで山であったところが、ちょうどすりばちのようになだらかな傾斜のある、広い土地に変わりました。

村人はたいそう喜んで、そこに立派なお宮をたてて、月の神様「月読命（つきよみのみこと）」をおまつりし、ここを「月野」と呼ぶようになったそうです。

月野は美郷で最も高いところにある集落で、はるか吉野川北岸の阿讃山脈から阿波、麻植、美馬が見渡せる景色のよいところです。

集落の中央に緩やかな傾斜の畑地がひろがり、月が降りたところだと伝えられています。神社は昭和の初めに広幡八幡神社に合祀され、お宮の跡は「中屋の窪」と呼ばれ、元の社殿の石が積み重ねられています。


高開の石積み
卍 重楽寺
聖観世音像彫刻
大粽
田平
古井
穴地
193
倉羅
林道倉羅月野線
月野
月野峠
壁岩峠
倉羅峠
林道 倉羅川井峠線
林道 大平槇山線
へんろ道
空海の道
釘貫
城川内
じょうれんあん
浄蓮庵（一本杉庵）
そうち
左右内の一本スギ
名西郡
神山町
245
二ノ宮
宇度木
番外札所 柳水庵
庄部
鍋岩
阿波遍路道（焼山寺道）
第12番札所
しょうさんじ
焼山寺
▲938m
焼山寺山
じょうしんあん
杖杉庵
阿波遍路道（一宮道）
43
県道神山川島線
地中
第12番札所 摩廬山 焼山寺
番外札所 杖杉庵
一宿山 浄蓮寺（一本杉庵）
5
6

善入寺島（粟島）

吉野川の真ん中にある中州で、その面積は約 500 ヘクタールに及び、日本最大の川中島である。耕地は約 350 ヘクタールで、川島町や阿波市市場町の農家の方が占用し耕作している。元々は、宮ノ島村、児島村、三ツ島村、香美村、粟島村、大野島村、伊月村、郡村、知恵島村の村に分かれていた。明治 42 (1909)年から始まった吉野川堤防築堤工事により立ち退きを余儀なくされ、大正 5 (1916) 年まで、約 5 百戸、約 3 千人が住んでいた。

城山には移転の碑がある。

北海道仁木町の開拓者

北海道へ藍作の地を求めた仁木竹吉

天保 5 (1834) 年麻植郡児島村（児島塚・善入寺島）の小高取（武士待遇）、大島源左衛門の 7 男として生まれた。（稲田家御家中筋目書による、諸説あり）嘉永 6 (1853) 年大島家から美馬郡拝原村の仁木大蔵家の仁木伊兵衛のもとへ養子に入ることが許可となっている。仁木家は代々、稲田家（徳島藩家老）の家臣で藍製造を業としていた。青年期に達して家業である藍製造を受け継ぎ、慶応 2 (1866) 年には徳島藩の藍製取締方に任ぜられた。

明治 7 (1874) 年の吉野川の水害に苦しむ流域の農民の窮状、惨状を救済するために、渡道を決意し、明治 8 (1875) 年 1 月に麻植・阿波郡長に「北海道渡航二付御添翰願」を提出し、3 月に北海道へ向かい、旧主である稲田家の移住地、静内から道内を視察した。

この視察を通じて、北海道でも藍草、煙草、豆類、麦類の生育が可能なことを確信し、開拓使へ「北海道藍・煙・菽麦拡張論」を建言し、明治 9 (1876) 年 1 月に種子の取り寄せを誓願した。

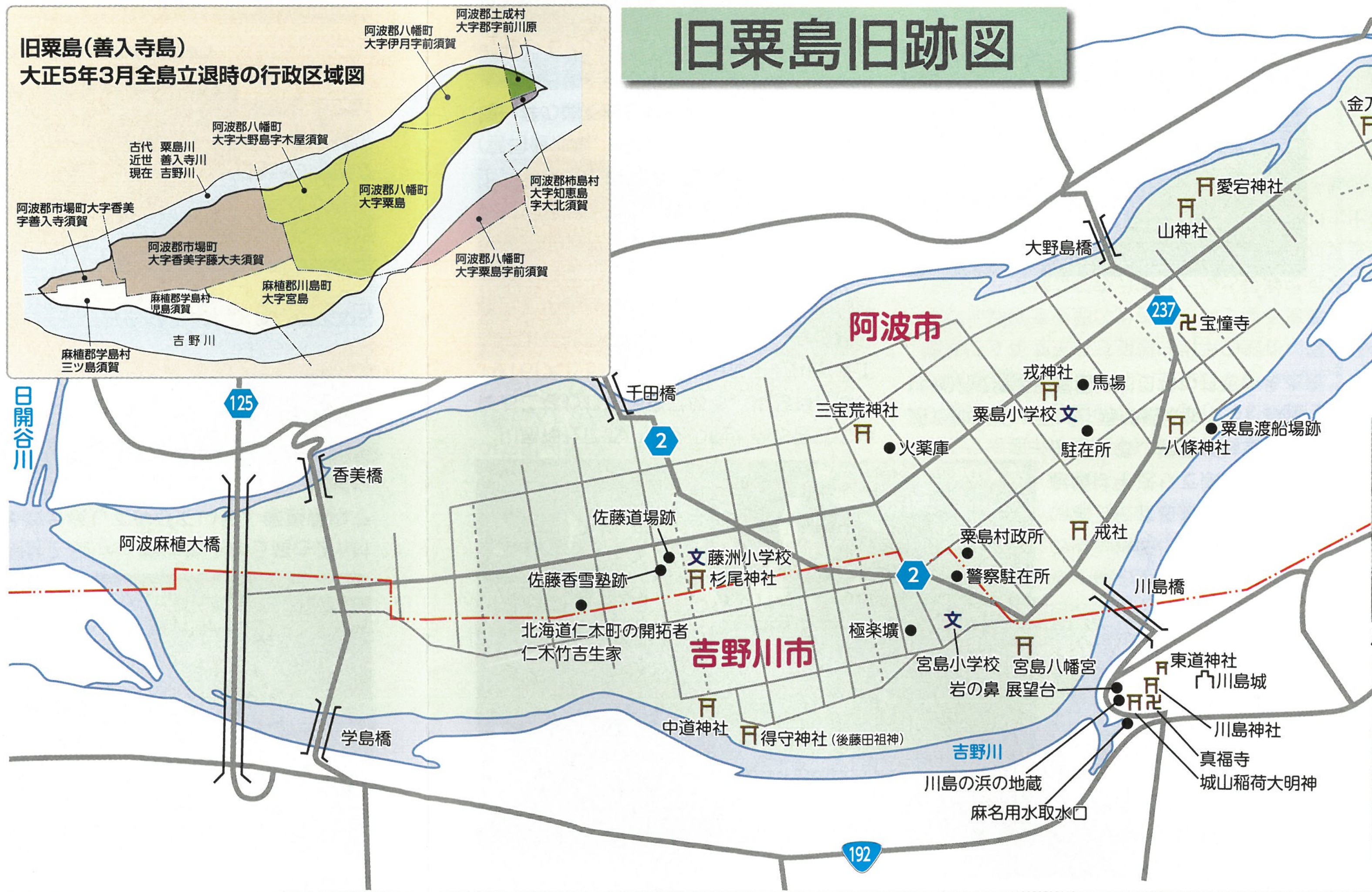
竹吉が渡道後、もっとも主力を注いでいたのは藍栽培であった。滞在していた静内では明治 9(1876) 年から製藍を開始し、10 (1877) 年に藍玉が生産されていた。

明治 12(1879) 年 5 月に「殖民二付願」を開拓使に出し、余市郡への殖民計画と移民団の創設に着手した。余市郡が選定されたのは、静内に比べ余市川流域にまとまった未開地が存在したこと、しかも同地は余市川の恩恵を受けた肥沃な土地であったこと、さらには河口には鰊漁場で栄える余市があって藍作の肥料に必要な鰊粕の入手に至便であったことによるものと推定されている。同年 12 月 5 日に仁木村と村名設置の儀が出され、明治 13 (1880) 年 3 月 6 日に仁木村の設置が布告となった。

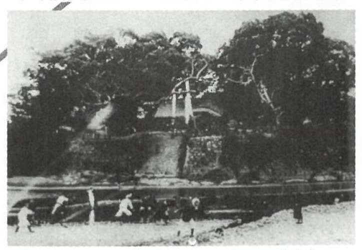
明治 15(1883) 年 6 月に開拓使へ瀬棚原野の 450 万坪の貸付を誓願し、10 月に移住をはたして「竹吉村」を創設した。明治 19 (1887) 年に渡道して倶知安原野を発見し、21 (1889) 年 3 月に同原野に 150 万坪の貸付を出願していたが、果たされなかった。

大正 4 (1915) 年 8 月 31 日に死去し、後半生を北海道の開拓にささげた 84 歳の生涯であった。

旧粟島旧跡図


旧粟島（善入寺島）
大正5年3月全島立退時の行政区域図
阿波郡土成村 大字郡字前川原
阿波郡八幡町 大字伊月字前須賀
阿波郡八幡町 大字大野島字木屋須賀
古代 粟島川
近世 善入寺川
現在 吉野川
阿波郡八幡町 大字粟島
阿波郡柿島村 大字知恵島 字大北須賀
阿波郡市場町大字香美 字善入寺須賀
阿波郡市場町 大字香美字藤大夫須賀
麻植郡川島町 大字宮島
阿波郡八幡町 大字粟島字前須賀
麻植郡学島村 児島須賀
吉野川
麻植郡学島村 三ツ島須賀
日開谷川
125
千田橋
2
香美橋
阿波麻植大橋
学島橋
金刀比羅宮
愛宕神社
山神社
大野島橋
237
卍宝憧寺
阿波市
戎神社
馬場
三宝荒神社
粟島小学校
火薬庫
駐在所
八條神社
粟島渡船場跡
佐藤道場跡
藤洲小学校
杉尾神社
佐藤香雪塾跡
粟島村政所
戎社
警察駐在所
川島橋
北海道仁木町の開拓者 仁木竹吉生家
吉野川市
極楽壙
宮島小学校
宮島八幡宮
東道神社
川島城
岩の鼻 展望台
中道神社
得守神社（後藤田祖神）
吉野川
川島神社
真福寺
城山稲荷大明神
川島の浜の地蔵
麻名用水取水口
192

川島橋開通まで活躍した岡田式渡船


宮島八幡宮（別名浮島八幡宮）

7 8 え お か き く け